

# 2014 そらじや吉備路マラソン

1万8024人が駆け抜けた全国第9位  
 仙台国際ハーフマラソンとの連携  
 多くの人と企業の支え

中・四国地方で最大、全国第9位の規模に発展した今大会。仙台国際ハーフマラソンとの連携協定や、大会を支えるボランティア、協賛スポンサーなど、さまざまな要素で開催することができました。

そうじや吉備路マラソンが2月23日、総社市スポーツセンター周辺を発着点に開催され、過去最多の1万8024人のランナーが早春の吉備路を駆け抜けました。

フルマラソン、ハーフマラソン、10km、5km、3km、1.5kmと8000mのファミリーマラソンの5種目2イベントで開催。ハーフマラソンと10kmは日本陸上競技連盟の公認コースで、充実した内容の大会となりました。

フルマラソン、ハーフマラソン、10km、5km、3km、1.5kmと8000mのファミリーマラソンの5種目2イベントで開催。ハーフマラソンと10kmは日本陸上競技連盟の公認コースで、充実した内容の大会となりました。



## お礼

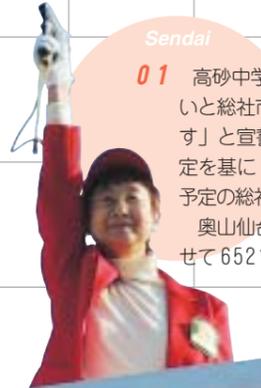
開催にあたり、準備や運営、沿道警備、給水、駐車場といったボランティア、沿道からの応援、物的な支援や盛り上げなどにご協力いただき、深く感謝申し上げます。また、交通規制では何かとご迷惑をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。

大会会長 片岡聡一



## Sendai

01 高砂中学校の4人は「自然豊かな総社市で、被災地の思いと総社市を結ぶ、勇気あふれる走りをするを誓います」と宣誓。前日の22日に開催した前夜祭では、連携協定を基に5月11日開催の仙台国際ハーフマラソンに出場予定の総社東中学校の生徒とエール交換をした。奥山仙台市長が午前9時、号砲一発。フル・ハーフ合わせて6521人がスタートした。



▲スタート合図のピストルを鳴らす奥山仙台市長 ▼力強く宣誓する高砂中の生徒4人 ▶前夜祭でエール交換し交流を深めた高砂中学校と総社東中学校の生徒



## 01 仙台との協定

仙台国際ハーフマラソン大会との相互連携に関する協定に基づき、仙台市立高砂中学校の生徒4人を大会に招待。また、奥山恵美子仙台市長がフル・ハーフのスターターを務めました。

## 02 招待選手

今年の招待選手は天満屋女子陸上競技部の小原怜選手。また、全国高校駅伝競走大会に出場した興譲館高校女子陸上競技部と倉敷高校男子陸上競技部も招待しました。



## Invitation

### 02

小原選手は3kmとファミリーマラソンに出走。子どもらといっしょに楽しく走る姿が印象的だった。招待チームの興譲館高校女子陸上競技部と倉敷高校男子陸上競技部はそれぞれ5kmに出場。何人もが上位入賞を果たしている。

▶ファミリー1800mで親子といっしょに走る小原選手



## Image song

### 03

テーマソングを制作したゴーストノート。開会式前と多目的広場でミニライブを行った。その熱い歌声は多くのランナーに勇気を与えた。

▶トラップの特設ステージで熱唱するゴーストノート



## Sponsor

### 04

10kmの有限会社フレヴァン、5kmの株式会社キャリアプランニング、ファミリー1.5kmのカルピス株式会社、それぞれの社長がスターターや表彰式のプレゼンターなどを務めた。

▶10kmの表彰式のプレゼンターとして表彰状を渡すフレヴァン別府洋吾社長



▶ファミリーマラソン参加者にカルピスウォーターを配るカルピス山田藤男社長



▶5kmのスターターを務めたキャリアプランニング友光弘社長



## 04 スポンサー

コースの愛称を命名するネーミングライツのコーススポンサーを募集し、10kmが有限会社フレヴァン、5kmが株式会社キャリアプランニング、ファミリー1.5kmがカルピス株式会社に決定しました。なお、フルは山崎製パン株式会社、株式会社紀文食品、吉備信用金庫、長野病院、ハーフは大黒天物産株式会社の御協賛をいただきました。